

第五次千葉県障害者計画 主要施策管理表

平成27年度

主要施策	7 障害のある人一人ひとりに着目した支援の充実
------	-------------------------

総合計画等

- ◇ 発達障害、高次脳機能障害、強度行動障害など、地域の支援施設・機関では通常の対応が難しい障害について、県内に拠点を設置して支援の拡充を図るとともに、より地域に密着した支援ができるよう、民間での専門的・広域的な支援拠点機関の普及促進や、そのための機関・人材育成などの具体的な仕組みづくりを進めます。
- ◇ 通所による施設サービスだけでは支援が困難な障害のある人に対して、親の会、当事者サポート団体などと連携した支援などを進めます。
- ◇ 特に本人や家族の負担が大きい重度心身の障害のある人に対しては、支払いに係る利便性の向上を推進します。
- ◇ ひきこもり本人や家族等に対しては、相談支援等により、ひきこもり本人の自立を推進し、本人及び家族等の福祉の増進を図ります。

基本施策

- (1) 重度心身障害者(児)医療費助成制度の現物給付化の実施
- (2) 地域の支援施設等のみでは支援が困難な障害に対する支援の推進
- (3) 通所サービスだけでは支援が困難な障害に対する支援の推進
- (4) ひきこもりに対するアウトリーチ型支援の推進

数値目標の評価

(個)

年度	目標数	A	B	C	D	E	その他
27	8	4	2		1	1	
28							
29							

主要施策の取組状況等

平成27年度	<p>【主要施策の取組結果】</p> <p>(1) 27年8月から、重度心身障害者(児)医療費助成制度の現物給付化を実施しました。</p> <p>(2) 高次脳機能障害に関する相談件数は2万件弱となり、関係機関等との地域でのネットワーク構築に取り組みました。千葉県発達障害者支援センターにおいて研修を実施しました。相談支援従事者専門コース別等研修及び発達障害相談員フォローアップ研修を実施しました。</p> <p>(3) 強度行動障害者(児)を受入れた短期入所事業所や、看護師を配置した短期入所事業所に県独自の補助金を交付することにより、身近な地域において重症心身障害者等が利用できる場の確保を図りました。相談支援体制整備に係る市町村会議を開催し、情報共有・意見交換を行いました。</p> <p>(4) 情報交換及び事例検討会を実施し、ひきこもり地域支援センター内での情報共有や対応のスキルアップを図りました。ひきこもりサポーター養成研修及び、フォローアップ研修を実施しました。</p>
	<p>【取組結果への対応】</p> <p>(1) 引き続き、重度心身障害者(児)医療費助成制度の円滑な運用に努めるとともに、市町村の協力を得ながら、必要な調査を行うことを検討します。</p> <p>(2) 今後も研修を実施し、地域の発達障害の相談支援が対応可能な人材を養成します。また地域の相談支援機関との連携を進めます。ペアレントメンターを相談者に派遣し、家族の支援及び家族同士で支援できる体制の構築を推進します。</p> <p>(3) 看護師を配置した短期入所事業所に補助金を交付することにより、重症心身障害者等が利用できる場の確保に努めます。相談支援アドバイザーの派遣等を通じて市町村協議会への支援に取り組めます。</p> <p>(4) ひきこもり地域支援センター職員のスキルアップを図り、ひきこもり者や家族等への支援強化に努めます。ひきこもりサポーターの養成・フォローアップに努めるとともに、市町村と協力しながら、ひきこもり者への支援を進めます。</p>